


**【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート**

**1 事業の概要と実績**

No.	3				シート作成者		-	-
事務事業名	教育資料・物品貸出事業			事務区分	自治事務			
事業の目的	教育関係者に教育資料等の貸出を行い、教育実践の質的な向上に繋がるよう支援する			事業の目標	教育資料・物品等を教育関係者に貸し出しする			
事業の概要	・市内小中学校教職員及び社会教育関係職員のニーズに応じ、教育センターの所管する教育資料・物品等の貸出を行う ・今後、教育関係者の要望を調査し、必要な資料・備品等の整備について研究を進める ・神奈川県立総合教育センターカリキュラムセンターの事業との連携を模索する							
対象	教育関係職員			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	<input type="checkbox"/>
指標	資料・物品貸出数							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
50件	77件	50件		50件		50件		
事業費	実施計画事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
	予算額	-	0	0	0			
	決算額	0						
	執行率							
	従事者数	0.05	0.05					
	職員	0.05	0.05					
	臨時・非常勤等							
財源内訳	特定財源	国庫支出金						
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							

**2 事業実施状況に対する評価**

事業の必要性	
<p>教育資料・物品貸出を行い、教育実践の質的向上に繋がるよう支援する必要性は高いと考えられる。          しかしながら、教育センターの相談機能の充実のために理科準備室の部屋の転用や、貸出を行っていた理科備品を希望する学校へ転活した。          またビデオ編集機や16mm映写機は時代の流れで一定の役割を終えている。そうした状況により本事業は、目標管理をして貸出をする状況になく、現在は教育資料等の貸出にとどまっている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>貸出の状況は、学校教職員が教材研究をするために使用する資料にとどまり、使用頻度の高い資料・物品は各学校で購入が進んでいる。          平成27年度貸出状況 77件          教科書38件、指導書5件、学習指導要領17件、評価資料集10件、副読本2件、記念誌3件、他</p>
事務効率	<p>77件の貸出には、効率よく対応できたが、貸出内容は教育資料のみである。</p>
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p><b>実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった</b></p>	

**3 今後の事業展開(事務改善)**

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業の廃止	<p>事業の休廃止</p> <p>29年度より事業No19の「教育情報・資料收集整理事業」において、教育資料等の収集は行っていくので、そこに統合する形で教育資料の貸出を継続していく。          なお、教育センターの機能の大きな見直しが行われ、貸出事業が必要となった場合は復活することも検討する。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	7			シート作成者		-		-		
事務事業名	子どもたちの学習・生活状況に関する調査研究事業			事務区分	自治事務		部課かい名		教育推進部 教育センター	
事業の目的	市立小中学校児童・生徒意識調査を実施し、結果の分析・公表を行う			事業の目標	茅ヶ崎市内の児童・生徒の学習状況及び生活状況の把握					
事業の概要	・「茅ヶ崎市立小中学校児童生徒意識調査」を実施し、茅ヶ崎教育研究会による調査結果の分析・検証 ・総合計画及び教育基本計画の指標目標値との接合を図り、教育委員会内の諸事業の評価に資するために調査する ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価、学校評価との関連や新たな政策立案につなげる調査について検討する									
対象	市内公立小・中学校児童・生徒、保護者、小・中学校教職員、社会教育関係者、市民			事業の性質区分	定例・定型		業務計画		■	
指標	児童生徒意識調査実施回数及び対象者数									
27年度(第2次実施計画)			28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値		実績値	目標値		実績値		目標値		実績値	
年1回4月実施 (小3, 小6, 中3 6,000名)		年1回4月実施 (小3, 小6, 中3 6,603名)	年1回4月実施 (小3, 小6, 中3 6,000名)		年1回4月実施 (小3, 小6, 中3 6,000名)		年1回4月実施 (小3, 小6, 中3 6,000名)			
事業費	実施計画事業費	-	93,000	77,000	68,000	※金額については1円単位で記入してください				
	予算額	92,000	92,000							
	決算額	92,000								
	執行率	100.0%								
	従事者数	0.28	0.34							
	職員	0.13	0.18							
	臨時・非常勤等	0.15	0.16							
財源内訳	特定財源									
	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
その他										
一般財源	92,000	92,000								

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>子ども達の学習状況・生活状況の調査は、その結果を教育課題の分析や研修等に活用している。 調査の実施や結果の分析といった取り組みは、人間教育を幼児期から学齢期、成人へとつなげる長期のプロセスと捉え、そこに関係する、家庭・地域・学校などを広く視野に納めながら、教育行政の課題を考えていくうえできわめて重要である。</p>	
事業成果	<p>調査を実施し結果の分析結果については、教育センター調査研究発表会等で報告するとともに、各学校にも資料を配付して、子どもの学習状況・生活状況の把握等に活用されている。 教育基本計画の点検評価の施策目標となっている項目があり、調査結果から評価を行っている。</p>
事務効率	<p>調査を行うに当たり、質問紙・解答用紙の作成、対象者分の印刷、各校への配布・回収、マークシート結果の集計を行う。 調査結果の分析には、教育研究員を4名委嘱し、そのほかに教育指導員や担当職員が関わっている。 調査結果の集計後から夏の調査研究発表会までという短期間に、6～7回の研究員会を開催し、集計結果の分析と提言の準備をする必要があり、業務負荷が高い。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	


3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>教育基本計画の施策目標にもなっているので、32年度までは毎年の実施で継続していく。 しかし、7年間継続して取り組んできて、年ごとに結果が極端に変わることもないことがわかってきたので、32年度以降の調査実施の方法等を検討していく。 また、アンケート内容についても設問の見直し、検討を行う。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

## 1 事業の概要と実績

2 事業実施状況に対する評価	
事業の必要性	
<p>次代を担う子ども達の豊かな人間性と自律性を育むために、教育に当たる教職員の人材育成事業は非常に大切である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県立総合教育センター、体育センター等が行っている研修において、県と学校間の連絡等事務を行い参加対象の教職員がスムーズに参加できるように取り組んだ。</li> <li>・経験年数が5年未満の教職員の研修が継続して行われるように、市として初任者研修、1年経験者研修、3年経験者研修、4年経験者研修を行い成果を上げた。</li> <li>・学校の要請により、臨時的任用職員等を対象に教育指導員が訪問研修を行い成果を上げた。</li> <li>・成果を上げている一方で、初任者研修における宿泊研修施設(柳島キャンプ場)について施設管理者の意向から今後優先予約が難しい状況にある。</li> </ul>
事務効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事・教育指導員が連携し、研修者一人ひとりのニーズに合わせた研修が適正に行われている。</li> <li>・初任者研修のうち宿泊研修については茅ヶ崎市内の施設としての活用を意図して柳島キャンプ場を利用している。</li> </ul> <p>しかし、柳島キャンプ場、柳島記念館、教育センターの3ヶ所を使用している研修となり、時間的効率に課題がある。</p>
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p><b>実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった</b></p>	

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>教職員の研修、人材育成に関しては、中核市移行も見据え、人材育成方針の策定や、個別の研修について検討と見直しを行っていく。</p> <p>初任者研修の宿泊ふれあい体験研修についても、中核市への移行を見据え内容の検討を行う。その中で28年度中に、現在宿泊場所として柳島キャンプ場を利用しているが、トップシーズンの優先予約、指定管理等の課題から利用の見直しを検討する。</p> <p>また、宿泊場所の変更に伴い、プログラム、研修内容の検討を行う。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

事業を構成する活動(27年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
21-1	教育指導員報酬	初任者・経験者(1～4年)研修	180日×3人配置	3人配置	5,400,000	5,400,000
21-2	市主催初任者研修会の開催	初任者研修会の開催回数	38人×9回	38人×9回	37,000	23,630
21-3	教特法第23条に基づく、新採用職員研修	校内研修・校外研修の実施数	校内研修210時間、 校外研修18日	校内研修210時間、 校外研修18日		
21-4	初任者研修指導教員連絡会の開催	連絡会の開催回数	拠点校指導員 11人×4回	拠点校指導員 11人×4回		
21-5	初任者研修指導教員連絡会の開催	連絡会の開催回数	校内指導教員 35人×4回	校内指導教員 36人×4回		
21-6	湘三管内初任研実施予定校説明会を受け初任研実施の協議を行う	連絡協議会の開催回数	年1回(3月)	年1回(3月)		
21-7	新採用初年度の研修を受け、引き続き教師としての資質向上を図る	1年経験者研修会開催回数	49人×4回	49人×4回	37,000	23,628
21-8	初任者研修の手引き作成・配付	作成配付部数	250部	250部		
21-9	夏季宿泊初任者研修のしおり作成・配付	作成配付部数	120部	100部		
21-10	初任者研修報告書の作成・配付	作成配付部数	110部	100部		
21-11	授業技術等の教師としての資質向上を図る3年経験者研修	3年経験者研修会開催回数	62人×1回	61人×1回	37,000	23,628
21-12	授業技術等の教師としての資質向上を図る4年経験者研修	4年経験者研修会開催回数	32人×1回	32人×1回	37,000	23,628
21-13	1年経験者研修報告書の作成・配付	作成配付部数	120部	100部	37,000	23,628
21-14	教育指導員用・拠点校指導教員用小学校教科書購入	小学校教科用図書の購入	16人	16人	144,000	143,927
21-15	新採用臨時的任用教員等要請訪問研修	教育指導員の配置及び要請訪問研修数	180日× 1人配置 90回	180日× 1人配置 104回	1,800,000	1,800,000

27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容		
項番	改善内容	経営改善方針への位置付け
21-1	引き続き教育指導員を3人配置する	位置付けない
21-2	引き続き市主催初任者研修会を開催する	位置付けない
21-3	引き続き教特法第23条に基づく、新採用職員研修を実施する	位置付けない
21-4	引き続き初任者研修指導教員(拠点校指導員)連絡会を開催する	位置付けない
21-5	引き続き初任者研修指導教員(校内指導教員)連絡会を開催する	位置付けない
21-6	引き続き湘三管内初任研実施予定校説明会を受け初任研実施の協議を行う	位置付けない
21-7	引き続き新採用初年度の研修を受け、教師としての資質向上を図る	位置付けない
21-8	引き続き初任者研修の手引きを作成し、配付する	位置付けない
21-9	28年度以降の宿泊研修施設の選定を行うとともに、研修プログラムの検討を行う	位置付けない
21-10	引き続き初任者研修報告書を作成し、配付する	位置付けない
21-11	引き続き3年経験者研修会を開催する	位置付けない
21-12	引き続き4年経験者研修会を開催する	位置付けない
21-13	引き続き1年経験者研修報告書を作成し、配付する	位置付けない
21-14	引き続き小学校教科用図書を購入する	位置付けない
21-15	引き続き新採用臨時的任用教員等要請訪問研修を実施する	位置付けない

事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
14-1	教育指導員報酬を執行する	初任者・経験者(1～4年)研修	180日×3人配置		5,400,000	
14-2	市主催初任者研修会を開催する	初任者研修会の開催回数	38人×9回		44,000	
14-3	教特法第23条に基づく、新採用職員研修を実施する	校内研修・校外研修の実施数	校内研修210時間、 校外研修18日			
14-4	初任者研修指導教員連絡会を開催する(拠点校指導員)	連絡会の開催回数	拠点校指導員 11人×4回			
14-5	初任者研修指導教員連絡会を開催する(校内指導教員)	連絡会の開催回数	校内指導教員 35人×4回			
14-6	湘三管内初任研実施予定校説明会を受け初任研実施の協議を行う	連絡協議会の開催回数	年1回(3月)			
14-7	新採用初年度の研修を受け、引き続き教師としての資質向上を図る	1年経験者研修会開催回数	49人×4回		43,000	
14-8	初任者研修の手引きの作成・配付を行う	作成配付部数	250部			
14-9	夏季宿泊初任者研修のしおりの作成・配付を行う	作成配付部数	120部			
14-10	初任者研修報告書の作成・配付を行う	作成配付部数	110部			
14-11	授業技術等の教師としての資質向上を図る3年経験者研修を実施する	3年経験者研修会開催回数	39人×1回		43,000	
14-12	授業技術等の教師としての資質向上を図る4年経験者研修を実施する	4年経験者研修会開催回数	61人×1回		43,000	
14-13	1年経験者研修報告書の作成・配付を行う	作成配付部数	120部			
14-14	教育指導員用・拠点校指導教員用小学校教科書を購入する	小学校教科用図書の購入	16人		61,000	
14-15	新採用臨時的任用教員等要請訪問研修を実施する	教育指導員の配置及び要請訪問研修数	180日× 1人配置 90回		1,800,000	

【再設定項目】事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)